PDA

PDA 即興型英語ディベート 熊本交流会

一般社団法人パーラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2023 年 12 月 16 日（土）09:30-12:00（午前の部）・13:30-16:00（午後の部）
会場：オンライン（Zoom）
参加者：午前 生徒 36 名、午後 生徒 21 名（熊本第二高校、熊本商業高校、熊本西高校、熊本北高校、玉名高校、水俣高校、尚絅高校、真和高校、八代高校）
ジャッジ：PDA スタッフ、PDA 認定教育ジャッジ、九州大学

県内 9 つの高校が集まって即興型英語ディベートに取り組む「PDA 即興型英語ディベート 熊本交流大会」がいよいよ開幕しました。午前は初心者の部、午後は経験者の部とそれぞれ 2 回ずつディベート実践を行います。

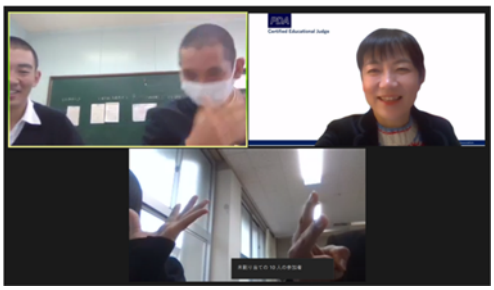
はじめに、熊本県教育庁 県立学校教育局 高校教育課 高等学校教育指導班 指導主事中村先生より「本日は交流会です。楽しみながら頑張ってください。」とご挨拶いただきました。そして、PDA 代表理事の中川智皓より、「これまで思いついたけど言わなかったという経験があるのではないでしょうか。本日行うディベートは役割が決められており、言わないといけない環境となります。思いついたことはどんどん発信していきましょう。」とエールが送られました。その後、PDA スタッフよりルール説明が行われ、ディベートの流れに関する説明や、POI（Point of Information: ディベート中の質疑応答）の練習が行われ、早速 1 ラウンド目がスタートしました。

中村指導主事によるご挨拶

中川代表理事によるご挨拶

POI の練習

1ラウンド目の論題は、“**Homework should be abolished.（宿題を廃止すべきである。）**”でした。立論では分かりやすい語彙を用いてスピーチに取り組み、まとめのスピーチでも自分たちの最も強いポイントを重要な議論として提示し、説明することができていました。ディベートが終わると対戦チームと健闘をたたえて画面越しに握手を交わし、ジャッジの結果が出るまで対戦チームと部活動やディベート、英語学習などについて会話し、交流を深めました。中には、「この論題、ぶっちゃけ賛成派？反対派？」など論題について会話しながら理解を深めるテーブルもありました。



役割決めのじゃんけん

POI にもチャレンジ！！

続く2ラウンド目の論題は **“Convenience stores should be closed late at night.（コンビニエンスストアは深夜営業をやめるべきである。）”** でした。コンビニエンスストアで働く労働者、深夜にコンビニエンスストアを利用したい客、コンビニエンスストアの周りに住む近隣住民など多様な人物を取り上げながら、それぞれの人物への影響について具体的に説明しました。ディベート後は英語科の生徒に授業の違いをたずねたり、演劇部やバレー部といった所属する部活動について語ったり、会話を楽しみました。

果敢に POI！

お互いを労いながら握手

ディベート実践を終えると、1ラウンド目と2ラウンド目でベスト POI に選ばれた生徒たちが、「1ラウンド目が悔しくて2ラウンド目は POI を頑張った。1ラウンドよりもいいスピーチができて嬉しかった。」「いろんな人と交流ができて楽しかった。」と感想を述べました。そして PDA スタッフより、「本日の論題を今からもう一度行えば、きっと先ほどよりも中身の濃いスピーチができるはずです。それ自体が成長です。頑張った自分に拍手を送りましょう」とメッセージが伝えられ、午前の部が終了しました。

昼食休憩ののち、午後の経験者の部が始まりました。はじめに PDA スタッフよりルールのおさらいと、AREA（分かりやすいスピーチのための構成）や説得的な立論の立て方や反論の仕方についてレクチャーが行われました。ここでも POI の練習が行われ、片手を頭に乗せ、もう片方の手を伸ばす POI のポーズを元気に行うことができました。

POI の練習

そしていよいよディベート実践のスタートです。午後の部の最初の論題は“**Teaching by AI is better than by human.（AI 先生は人間の先生よりもよい。）**”でした。「AI には感情はないが、人間にはある。生徒の気持ちに寄り添えることが重要。」「人間の先生には知識の限界がある。AI の方が物事をよく知っている。疑問をすぐ解消できることが学力には重要。」など人間と AI の差を分析しながら説得的なスピーチを披露しました。ディベート後の交流ではお互いのディベート練習方法についても共有し、練習試合しようよ！と声を掛け合う場面も見られました。

POI！

POI のポーズで記念撮影！

ディベート後の握手

休憩をはさみ、本日最後のディベートです。論題は、“**Japan should legalize ridesharing businesses.（日本はライドシェアサービスを合法化すべきだ。）**”でした。現在ホットなこの話題ですが、普段ニュースなどで見聞きして知った情報などをスピーチに盛り込むチームもありました。ジャッジからのアドバイスを真剣にメモを取る様子も見られました。

激しい POI の応酬が続きます

その後の交流も楽しみました

全員でPOI！

2回の実践を終えると、1ラウンド目でベストディベータに選ばれた生徒が代表して本日の感想を述べました。「普段ディベートをしない学校とディベートすることで色々な意見を知ることができた。とても楽しかった。」と笑顔で感想を述べ、交流会が終了しました。

参加者の声（アンケートより抜粋）

・上手くやれるか不安だったけどみんなで協力して意見を言うことが出来たので良かったです。（熊本西）
・みんなと英語でディベート出来ていい経験でした！これからもディベートにたくさん参加させていただきたいです。（熊本北）
・ディベートの大会に参加するのは初めてでしたが、とても楽しむことが出来ました。様々な視点からテーマを見ることができ、充実した時間でした。（熊本北）
・すごく緊張しました！（水俣）
・非常に楽しかったです。（真和）
・質問や英語が聞き取れなかったところがたくさんあったのでやはり勉強が必要なのだと感じました。また、ディベートをとうして色々な考え方や視点を得ることも大切なのだと感じました。（玉名）
・賛成と反対があって、どちらの意見も納得できる中で、どう反論して同意見を述べるかを考えるのがとても刺激的で良い経験になりました。（玉名）
・今日のディベート交流会で知らない人と話すことで色んな視点や考えそして英語での表現方法を知れたのでよかったです。（熊本第二）
・始まる前はとても緊張していましたが、いざ試合が始まると緊張を忘れるくらい集中していました。アドバイスをもとにまた次へと繋げたいと思います。（尚絅）
・もっとやりたいと思った。（熊本商業）
・自分の意見をまとめて英語で発言することは難しいですが、しっかりと向き合ってできて良い機会になりました。　また、他校の人と交流できて楽しかったです。（熊本）
・難しいお題だったけど他校の人と交流できて良かったです。次も是非機会があれば参加したいです。（八代）